

学校運営協議会 議事録

校名	府立汎愛高等学校
(准)校長名	藪中 俊彦

開催日時	令和4年12月12日(月)18:00 ~ 19:00
開催場所	府立汎愛高等学校 2階 校長応接室
出席者(委員)	岩本仁宏会長 近藤義隆委員 梨木昭平委員
出席者(学校)	藪中俊彦校長 丸橋忠事務長 安達武史教頭
傍聴者	
協議資料	「令和4年度 学校経営計画及び学校評価」「スクールミッション(案)」
備考	

議題等(次第順)

- ① 委員紹介
- ② 大阪府立汎愛高等学校の学校運営について(「学校経営計画及び学校評価」)
- ③ 令和5年度「スクールミッション案」
- ④ 質疑応答・意見交換

協議内容・承認事項等(意見の概要)

「学校経営計画及び自己評価」(進捗状況)について  
**【質疑応答・意見・感想等】**  
 ・学校行事が充実してきたと思う。  
 ・現在の汎愛高校の講師率(常勤・非常勤含む)を教えてください。  
 ・学校運営協議会を実施する意義をはっきりとさせておきたい。子どものためになるようにしてほしい。今までも委員としてやってきたが、ここでの意見が学校運営に反映されているのか、ただ形式だけであるのは、よくないのではないか。  
 ・生徒の様子を見ていると、学校の様子がわかる。  
 ・コロナ禍であった、今の高校3年生に対して、腹をくくって、行事を実施した意義は大きい。進学のための学習環境を整えるのも大切だが、二度と戻ってこない高校生活の思い出をつくることも、学校の大事な役目だと思う。そこから考えると、今年度、さまざまな行事をおこなったことは重要である。  
 ・府立に変わったことで、システムの変更など、大変だったと思う。それを生徒の不利益にならないようにすすめていると思われる。  
 ・市立から府立へ移管されたことにより、いろんな面で変わることもあると思うが、汎愛高校としての特色はずっと同じままであってほしい。  
 ・朝の正門指導をみていると、生徒に対して丁寧に対応している。その様子を見ると、汎愛高校の教員から生徒への優しさを感じる。  
 ・新学習指導要領の開始と、府への移管で激動の一年であったと思う。さらに、公立と私学のせめぎあいもある中、これだけの規模の学校で、さまざまな数字が良好なのは、努力している結果だと思う。  
 ・市から府へ移管された中で、SCの制度に疑問がある。月2回にSCがくると、月1回とでは、やはり活用する方法も違ってくる。  
**【スクールミッション】**  
 ・スクールポリシーへと繋がる部分について、「自覚と責任を身に着け」とあるが、これは生徒が身に着けると考えるとよいのか。  
 その他質問意見なく、本校のスクールミッションとして承認された。

次回の会議日程

日時	令和4年 2月もしくは3月 17:30~
会場	府立汎愛高等学校 2階 校長応接室